

会の目的

- 檜山の着地型観光・広域観光を推進するため、関係者間で情報共有、連携、協議を行う
- 関係者の共通認識のもと、檜山の実情に応じた観光施策の展開や戦略策定に繋げていく

## これまでの課題

活発な意見がでない

<話しづらい>

- ・格差  
行政（係長・担当）  
＜  
民間（社長・役員）  
・人数が多い

<ひとり一言>

- ・役場と観光協会は実質一緒に動いているので発言内容が重複することあり
- ・順番にあたるので、熱量の低い会話で長時間を占める

<実効性がない>

- ・意見交換やセミナーで終了
- ・開催回数が多い

形骸化

## これからの改善(案)

### ★二層体制

- 【本体】考える会(定例2回)
- 【分科会】テーマ毎の実践チーム  
(必要に応じて開催)

### ★発言者の自己申告制

- ・事前に資料を提出してもらい、原則資料提出者が発言する
- ・その他の発言は挙手で行う

### ★フォローアップ

- ・マッチングや追加情報の提供
- ・会員に観光情報をこまめにメール提供  
(ネットワーク強化)

より実効性と意義のある会議に